

事業報告書（指定管理者による自己評価）

1 指定管理施設及び指定管理者の概要

指定管理施設	名 称	アドベンチャープール（志井ファミリープール）
	所 在 地	北九州市小倉南区志井公園2番1号
指定管理者 （自己評価者）	名 称	ACEスギナプラス共同事業体
	所 在 地	北九州市八幡東区昭和一丁目1-5
指定期間		令和7年4月1日～令和10年3月31日
事業報告（自己評価）の 対象期間		令和7年4月1日～令和8年3月31日

2 企画提案事業・自主事業の実施状況（対象：自己評価の対象期間）

企画提案事業	応募時提案 （□にレ点）	実施の有無 （○・×）	備 考 （補足説明等）
フリーWi-Fi 整備事業	☒	×	次年度以降、一部スポット導入を検討中
館内放送（BGM）の導入事業	☒	○	
レジャー制服事業	☒	○	
チケット販売前広場の有効活用	☒	○	
企業コラボ WEEK（無料）	☒	○	
携帯電話充電サービスの導入事業	☒	○	
	☐		
自主事業	応募時提案 （□にレ点）	実施の有無 （○・×）	備 考 （補足説明等）
レンタルスペースの設置及び充実	☒	○	
水着等レンタル事業	☒	○	
冒険プールコラボ事業	☒	○	
プール閉園期間外活用事業	☒	○	
	☐		
	☐		
	☐		

3 自己評価結果

評価項目及び評価のポイント		自己評価		
1 施設の設置目的の達成（有効性の向上）に関する取組み				
(1) 施設の設置目的の達成		評価レベル (0～5)		
① 計画に則って施設の管理運営（指定管理業務）が適切に行われたか。また、施設を最大限活用して、施設の設置目的に沿った成果を得られているか（目標を達成できたか）。		3		
② 利用促進を目的としている施設の場合、施設の利用者の増加や利便性を高めるための取組みがなされ、その効果があったか。				
③ 施設の設置目的に応じた効果的な営業・広報活動がなされ、その効果があったか。				
[評価の理由、要因・原因分析]				
・業務計画書に基づき、安全・安心を最優先に、開園前の重点清掃、設備点検、水張り前点検、機械試運転等を計画的に実施し、営業期間中も日常点検・定期巡回・清掃業務を継続した結果、重大事故0件で運営することができた。 ・老朽化が進行する設備については、事前点検によりリスクを把握したうえで、利用制限や監視体制の強化等を講じ、施設の安全性と快適性の維持に努めた。 ・利用促進策として、企業コラボ WEEK、仮設エア遊具によるコンテンツの創出、冒険プール、レンタルサービス拡充等を実施し、既存施設に新たな付加価値を加えることで、ファミリー層を中心とした利用機会の拡大を図った。 ・広報面では、公式ホームページ、SNS、モノレール車内広告、宿泊施設等へのチラシ配布を組み合わせ、認知拡大につなげた。 ・一方で、お盆期間の豪雨による臨時休園等の外的要因により、来場者数・利用料金収入は目標値を下回ったため、評価は「3」とした。				
(単位：人)				
【利用者数】	6年度 (更新前)	7年度 (1年目)	8年度 (2年目)	9年度 (3年目)
要求水準	80,000	80,000	80,000	80,000
目標値	87,500	80,000	80,700	81,500
実績	78,818	76,576	－	－
達成率(%)	90.1	95.7	－	－
※ ・・・評価対象年度				

(2) 利用者の満足度						評価レベル (0～5)
① 利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られていると言えるか。						3
② 利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。						
③ 利用者からの苦情に対する対応が十分に行われたか。						
④ 利用者への情報提供が十分になされたか。						
⑤ その他サービスの質を維持・向上するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。						
[評価の理由、要因・原因分析]						
・利用者アンケート（有効回答数 159 件）の結果、スタッフ対応の達成率は 95.6%となり、再来園意向も 76.7%と概ね良好な評価を得た。						
・「施設利用」項目については、「汚いと古いは違う」との認識のもと、清掃や修繕により、過ごしやすい環境整備に尽力しているが、老朽化の影響は大きい。						
・その中でも利用者意見を踏まえ、営業期間も迅速に改善を図った。携帯電話充電サービス(無料)、女子更衣室へのドライヤー・ヘアアイロン設置、ミスト扇風機やスポットクーラーの増設、WBGT 計設置等の改善を実施した。						
・苦情・要望に対しては、駐車場誘導の強化、設備調整、接遇再研修等により迅速な改善対応を行い、サービスの平準化に努めた。						
・利用者への情報提供は、ホームページ・SNS 更新、園内アナウンス、各種掲示物等を通じて継続的に実施し、安心感と利便性の向上を図った。						
【満足度】	分類	6年度 (更新前)	7年度 (1年目)	8年度 (2年目)	9年度 (3年目)	
目標値	施設利用	92%	100%	100%	100%	
	職員対応	95%	95%以上	95%以上	95%以上	
実績	施設利用	34%	57.9%	—	—	
	職員対応	91%	95.6%	—	—	
有効回答数		193 人	159 人	—	—	
※ ・・・評価対象年度						
2 効率性の向上等に関する取組み						
(1) 経費の低減等						評価レベル (0～5)
① 施設の管理運営（指定管理業務）に関し、経費を効率的に低減するための十分な取組みがなされ、その効果があったか。						4
② 清掃、警備、設備の保守点検などの業務について指定管理者から再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるよう工夫がなされたか。						
③ 経費の効果的・効率的な執行がなされたか。						
[評価の理由、要因・原因分析]						

- ・光熱水費については、ポンプや照明の運転時間の適正化、漏水の早期発見・補修等により、無駄なエネルギー消費の抑制に努めた。
- ・人員面では、監視・案内・清掃等のマルチタスク化を進め、安全性を確保しつつ効率的な人員配置を行った。
- ・再委託業務については、専門性とコストの両面を踏まえて委託内容を精査し、必要な品質水準の確保と経費縮減の両立を図った。
- ・園内環境整備の一部を内製化するなど、経費の効果的・効率的な執行に努めた。

(単位：千円)

【支 出】		6年度 (更新前)	7年度 (1年目)	8年度 (2年目)	9年度 (3年目)
事業費	計画	30,332	32,725	32,725	32,725
	実績	30,668	29,841	—	—
人件費	計画	36,364	24,265	24,871	25,146
	実績	35,392	23,342	—	—
施設維持 管理費	計画	19,611	21,278	20,948	20,948
	実績	11,740	23,014	—	—
その他管 理運営費	計画	6,499	5,500	5,500	5,500
	実績	6,520	3,451	—	—
一般管理 費等	計画	13,108	14,350	14,696	14,932
	実績	13,200	13,395	—	—
計	計画	105,914	98,118	98,740	99,251
	実績	97,520	93,043	—	—

- ・老朽化が進行している設備・施設について、営業前点検および日常点検の結果を踏まえ、修繕の必要箇所を把握し、優先順位を付けたうえで計画的に対応した。
- ・修繕にあたっては、利用者の安全確保および営業継続への影響を最優先とし、施設運営上重要度の高い箇所から順次実施した。
- ・軽微な不具合については早期発見・早期対応に努め、機能低下や不具合の拡大を防ぐことで、施設全体の維持管理水準の確保を図った。
- ・修繕内容ごとに施工方法や実施時期を精査し、必要な品質を確保しながら、効率的かつ適正な経費執行に努めた。

(単位：千円)

【うち修繕費】	7年度 (1年目)	8年度 (2年目)	9年度 (3年目)
計画	7,289	7,289	7,289
実績	7,289	—	—

※ ・・・評価対象年度

(2) 収入の増加					評価レベル (0～5)
① 収入を増加するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。					4
② 使用料（利用料金）収入以外に、自主事業による収入や、企業などの外部からの収入（例：協賛金など）を獲得できているか。					
③ 自主事業による収益を活用した施設の魅力向上などの投資や、サービス向上などの指定管理業務や市への収益還元の取組みがなされたか。					
[評価の理由、要因・原因分析]					
・ 企業コラボ WEEK、冒険プール、レンタルサービスの拡充等、自主事業を積極的に展開することで、利用料金収入に依存し過ぎない収入構造の多角化を図った。 ・ 特に、企業との連携による協賛・物品提供、体験型コンテンツの導入、付帯サービスの充実により、施設の魅力向上と収入機会の創出を両立させた。 ・ 自主事業による収益は 5,650 千円を確保し、その全額を指定管理業務へ還元することで、施設運営の安定化およびサービス水準の維持・向上につなげた。 ・ 天候要因により利用料金収入は計画値を下回ったものの、自主事業および企業連携の強化により、利用料金収入以外の収入確保において顕著な成果を上げた。					
(単位：千円)					
【収 入】		6年度 (更新前)	7年度 (1年目)	8年度 (2年目)	9年度 (3年目)
利用料金 収入	計画	56,664	43,580	43,890	44,200
	実績	44,140	37,384	—	—
指定管理 料収入	計画	44,000	42,720	42,720	42,720
	実績	44,000	42,720	—	—
指定管理料 修繕費	計画	0	7,289	7,289	7,289
	実績	0	7,289	—	—
自主事業 収益還元	計画	5,250	4,529	4,841	5,042
	実績	11,335	5,650	—	—
計	計画	105,914	98,118	98,740	99,251
	実績	99,475	93,043	—	—
・ 自主事業により確保した収益については、指定管理業務へ全額還元し、施設の魅力向上および利用者サービスの充実に活用した。 ・ 特に、テナント機能の充実に注力し、飲食環境の向上や来場時の利便性向上を図ることで、滞在満足度の向上と施設全体の付加価値向上につなげた。 ・ また、体験型自主事業である「冒険プール（エア遊具型アトラクション）」を実施し、既存施設だけでは提供できない新たな遊びの価値を創出することで、ファミリー層を中心とした満足度向上と再来園意向の喚起に寄与した。 ・ 収益の確保と還元を一体的に実現したことにより、計画額を上回り、その全額を指定管理業務へ還元することで、施設運営の安定化とサービス向上に寄与した。					

<指定管理業務への収益還元の状況>

(単位：千円)

【実績】	6年度 (更新前)	7年度 (1年目)	8年度 (2年目)	9年度 (3年目)
利益額	11,335	5,650	—	—
還元額	11,335	5,650	—	—
還元率	100%	100%	—	—

※ ・・・評価対象年度

3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み

(1) 施設の管理運営（指定管理業務）の実施状況

評価レベル
(0～5)

- ① 施設の管理運営（指定管理業務）にあたる人員の配置が合理的であったか。
- ② 職員の資質・能力向上を図る取組みがなされたか（管理コストの水準、研修内容など）。
- ③ 地域や関係団体等との連携や協働が図られたか。

4

【評価の理由、要因・原因分析】

- ・管理運営体制を刷新し、新規で設置した管理責任者を中心とした強固な統括体制のもと、監視、受付、清掃、駐車場誘導等を役割ごとに配置し、繁閑に応じた合理的な人員配置を行った。
- ・開園前には全スタッフを対象とした研修を実施し、安全管理、接遇、公共施設職員としての基本姿勢、コンプライアンスの理解徹底を図った。
- ・自治会、行政機関、周辺施設、教育機関、地元企業等との連携を進め、公共施設として地域に根ざした運営を行った。

(2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など

評価レベル
(0～5)

- ① 施設の利用者の個人情報保護のための対策が適切に実施されているか。
- ② 利用者を限定しない施設の場合、利用者が平等に利用できるよう配慮されていたか。
- ③ 利用者が限定される施設の場合、利用者の選定が公平で適切に行われていたか。
- ④ 施設の管理運営（指定管理業務）に係る収支の内容に不適切な点はないか。
- ⑤ 日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。
- ⑥ 防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であったか。
- ⑦ 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか。

4

【評価の理由、要因・原因分析】

- ・個人情報関係法令に基づき適切に管理し、取得・保管・廃棄の各段階で漏えい防止に努めた。
- ・人権、ユニバーサルマナー、バリアフリーに関する研修を実施および一般開催の研修に参加し、高齢者・障がい者・外国人等を含む多様な利用者が安心して利用できる環境整備を進めた。
- ・指定管理業務と自主事業の区分経理を徹底し、収支の透明性と適正性を確保した。
- ・安全対策として、雷警報機（RAIJIN）による落雷リスク把握、WBGTに基づく熱中症対策、日常点検、巡回監視、警察との連携による防犯体制強化を実施した。
- ・緊急対応マニュアルおよびレギュレーションに基づき、事故発生時・非常時には所長を中心に迅速な初動対応と関係機関への連絡を行う体制を維持した。防犯対策の一環として、警察には定期巡回を強化してもらった。
- ・閉園時の地域防犯の一環として、冬季にイルミネーションを開催し、施設の閉園時の利活用を行うとともに安全対策にも寄与した。

【総合評価】

【全体的な評価・今後の対応等】

- ・令和7年度は、安全・安心を最優先とした運営のもと、重大事故0件を維持しつつ、企業コラボ WEEK、冒険プール、レンタルサービス拡充等により、施設の魅力向上と新たな利用価値の創出を図ることができた。
- ・老朽化設備への対応や繁忙期（お盆期間）の豪雨による臨時休園の影響により、利用者数・利用料金収入は目標値を下回った。また、コンプライアンスの組織的な強化、再発防止とガバナンス強化を重要課題として認識している。
- ・次年度は、開園40周年を契機として、記念事業や話題性のある企画の展開、利用者要望の高い機能の充実、コンプライアンス教育の継続強化を通じ、より安全で選ばれる公共レジャー施設としての価値向上に取り組んでいく。

【評価レベル】

評価レベル		評価レベルの考え方
5	良 い	要求水準・目標・計画を大幅に上回り、特に優れた管理運営をおこなった
4	↑	要求水準・目標・計画を上回り、優れた管理運営をおこなった
3	普 通	要求水準・目標・計画を満たしており、適正に管理運営をおこなった
2	↓	要求水準・目標・計画を下回り、課題の残る管理運営となった
1		要求水準・目標・計画を大幅に下回り、大いに課題の残る管理運営となった
0	適切でない	不適切な管理運営となった